

セミナーの概要

1-1 開催概要

ワーク・ライフ・バランス普及啓発を目的に、港区内中小企業経営者、人事担当者等を対象に、広くワーク・ライフ・バランスの周知を図る講演会と導入に繋げるセミナー・相談会を一体化した「講演会・セミナー」を開催しました。

今年度、「講演会・セミナー」は、平成29年10月と平成30年2月頃の2回開催予定であり、今回は、その第2回目の開催です。

- ◆開催日時：平成30年2月20日 18:30～20:30
- ◆開催場所：港区立港勤労福祉会館 第一洋室
- ◆主催者：港区産業振興課港勤労福祉会館
- ◆講師：ChatWork株式会社 セールス&マーケティング部 杉山大介氏
平成28年度東京ライフ・ワーク・バランス認定企業
ChatWork株式会社はクラウド型ビジネスチャットツールを提供しています。メッセージのやりとりだけでなく、タスク管理やファイル共有、ビデオ通話などが可能です。多くのワーク・ライフ・バランスを推進する企業で利用されています。
- ◆講演テーマ：第2回港区中小企業ワーク・ライフ・バランス経営セミナー
「テレワークを推進する企業の取り組み、働き方」
- ◆参加者数：25名
- ◆アンケート回答数：18名

1-2 開催構成

第一部 18:30～20:30

- ◆挨拶、施策説明 上嶋英治氏 (港区産業振興課港勤労福祉会館 館長)
- ◆港区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定事業について
(港区総務部総務課人権・男女平等参画課 二宮崇浩氏)
- ◆基調講演 杉山大介氏 (ChatWork株式会社)
「テレワークを推進する企業の取り組み、働き方」
- ◆質疑応答

休憩 10分

第二部 20:40～21:00

- ◆ワーク・ライフ・バランス何でも相談会

2. セミナーの内容

2-1 内容概要


ChatWork 株式会社 セールス&マーケティング部 杉山大介氏による、「テレワークを推進する企業の取り組み、働き方」・・・『“働き方改革”の先を行く ChatWork 的働き方』の講演を実施しました。

日本企業が抱える課題や現代のビジネスに必要な 2 つの経営資源（情報・時間）などについてご説明いただき、「チャットワーク式企業の働き方変革」について、ChatWork 社で行われている電話&FAX/メール/会議/訪問/紙を激減させる働き方の事例を交えてご紹介いただきました。



〔ChatWork 株式会社 セールス&マーケティング部 杉山大介氏〕

2-2 内容詳細

ChatWork 株式会社は、自社製品である“日本 No.1 ビジネスチャットツール” chatworkを使って自社の理念を実現するとともに、製品の提供を通じてコミュニケーションを活性化することで、“テレワーク”、“働き方改革”を推進しています。

I. 働き方改革、テレワークの普及促進

日本企業の抱える課題は、

- ✓ 競争激化、生産性の低下
- ✓ 販売・収益力の低下
- ✓ 属人化による技術力低下
- ✓ 人材の質量不足

であり、原因は“労働集約型働き方”

経営資源を

- ✓ ヒト（従業員）
- ✓ モノ（設備・製品）
- ✓ カネ（資金）

に頼る労働環境が続いたことによります。

だから今・・・

- ✓ 働き方改革
- ✓ テレワーク推進
- ✓ ダイバーシティ
- ✓ プレミアムフライデー

などを政府は働き方改革実現推進室を設置し進めています

でも・・・

働き方改革の実態 → まだまだ精神論

現代のビジネスに必要な2つの経営資源は

「情報」と「時間」

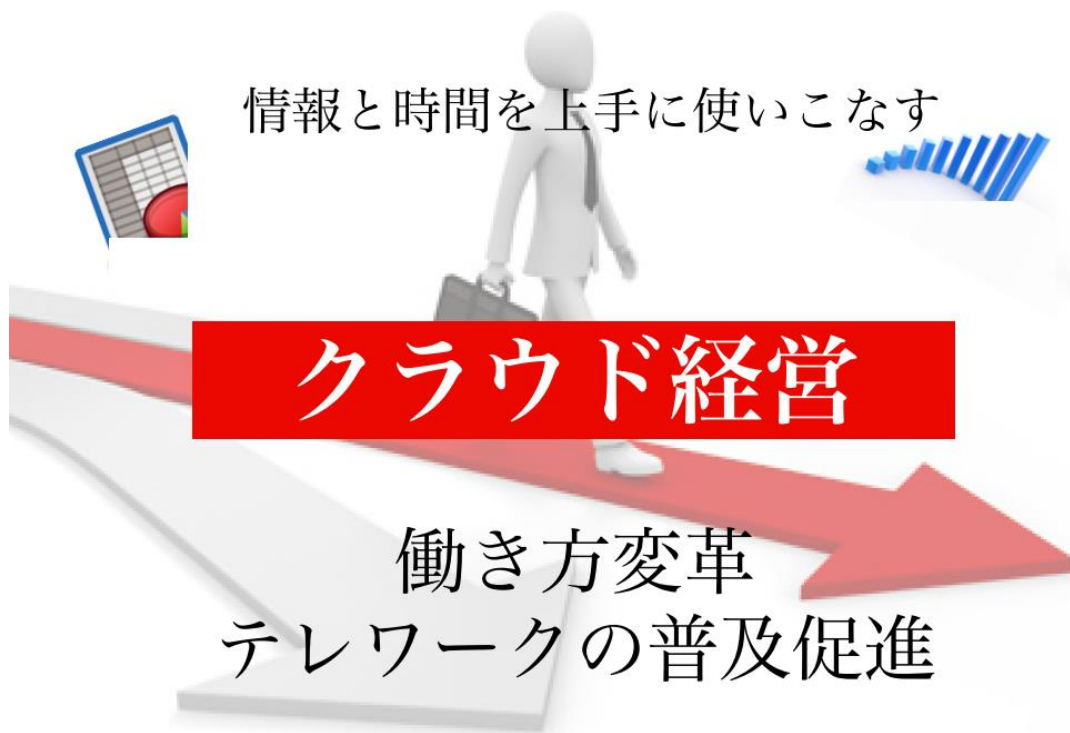
情報と時間を上手に使いこなす（には）

「クラウド経営」

- ✓ 働き方変革
- ✓ テレワークの普及促進

が求められます。

という内容をお話いただきました。



[講演内容より]

Ⅱ. チャットワーク式企業の働き方～電話&FAX/メール/会議/訪問/紙を激減させる働き方～

ChatWork 株式会社は創業して 15 年、代表が神戸の出身で本店が大阪にあります。昨年 10 月 29 日に台東区入谷のかっぱ橋商店街から港区の東京タワーの真下に引っ越し、働き方をアップデートできるオフィスとしました。

当社の経営理念は、

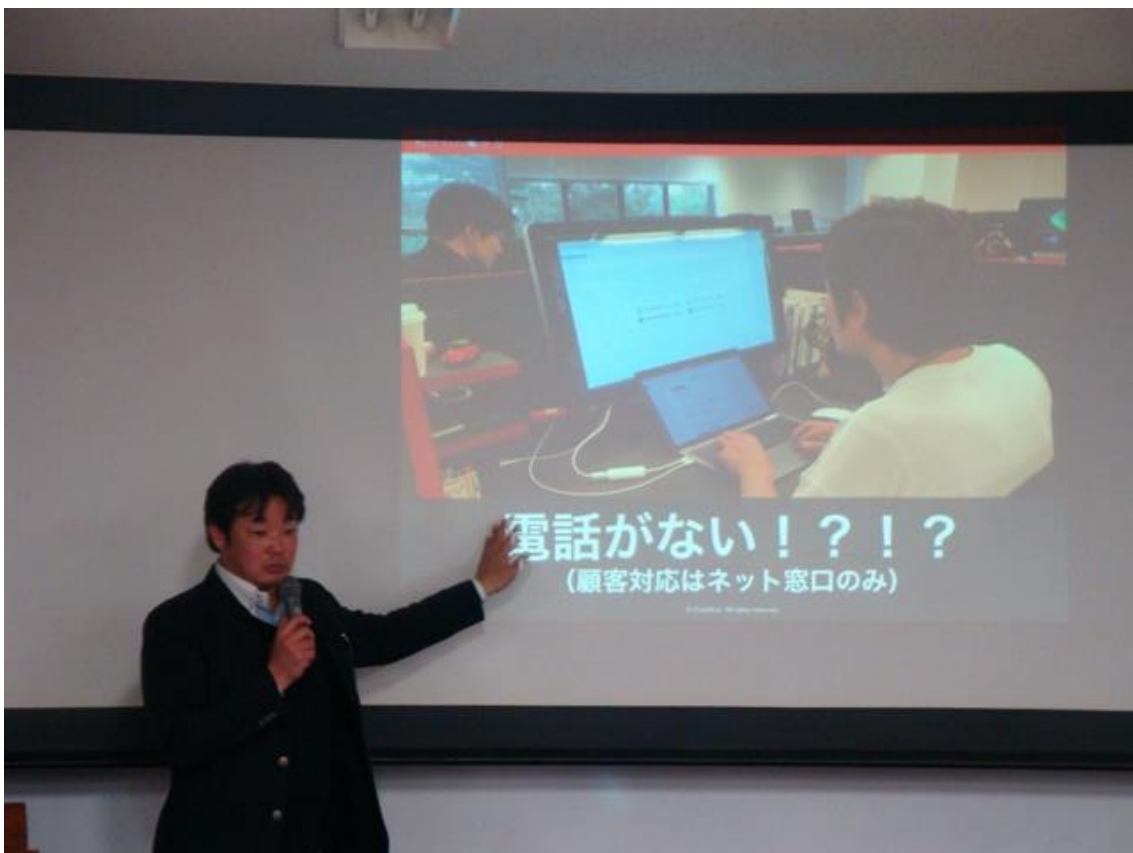
- 「心の豊かさ」 を実現する働き方 をつくりだす
- 「ストレスフリー」 に “成果” を上げる

ストレスフリーだけでは無法地帯になる。逆に成果を上げるだけでも若手には通用しない。このバランスづくりをしっかりとできる会社にしていく必要があると思っています。

Ⅲ. 私たちの働き方

- 電話がない
 - ・名刺に電話番号がない
 - ・電話はビジネスマンの時間をむやみにムダにする

- 紙がない
 - ・他にもペーパーレスの会社はあるが、当社は徹底している。
 - ・紙の弊害は、①保存ができない、②探せない、③共有できない
 - ・ビジネスでパワーを使うのが、探すこと、繰り返すこと、である。
 - ・認識違いを避けるため、議事録はリアルタイムで共有する。
- メールがない
 - ・メールはあいさつ、お礼など余計な労力を使う
 - ・メールは絶対なくなるものという認識はあるが、メールの時代は終わった。
 - ・チャットであれば要件を直接書き込むことができる
- どこでも仕事ができる
 - ・テレワーク、在宅勤務につながる
 - ・どこでも、誰でも、いつでも仕事ができる



〔講演中の杉山大介氏〕

IV. 理念を事業へ

- 総務省が実施する兵制 29 年度「テレワーク先駆者 100 選」に認定
- 日本でいちばん社員満足度が高い会社
- 効率化の考え方は、①「やらないこと」を決める、②「やること」を効率化、③「やるべきこと」に集中
 - ・「やること」は全体の 20%、「やるべきこと」に集中する。
- 「やらないこと」は、移動しない、探さない、繰り返さない
- 「やること」は、仕組み化、クラウド化して効率化する
- 「やるべきこと」は、価値あるサービスづくりをすること

※  chatwork のデモ

『メールに代わる新しいコミュニケーションツール』

V. 進む！働き方改革

《ビジネスシーンでの具体的課題》

- コミュニケーションの課題
 - ・ 電話・メールのやり取りが面倒
 - ・ 会議が多い、集まらない
 - ・ 意思決定のスピードが遅い
- 情報共有の限界コミュニケーションの課題
 - ・ 情報の可視化ができていない
 - ・ 情報の漏れと時間的ロスの発生
- 移動コストが膨大
 - ・ 時間、コストのロス発生
 - ・ 生産性に限界


《メール活用の弊害》

- あいさつ、お礼などを書く文化、伝えたい部分はわずか
- 日本のビジネスマンが一日に処理するメール件数
受信 55 通
送信 12 通
1 通当りの対応時間 7 分 → 伝えたい部分の所要時間 2 分

メール 1 通につき 5 分の“ムダな時間”が発生
メールだけで 60 分/日・人の時間が割かれている



メール、電話、会議、移動、紙の非効率をなくすのが
次世代型の通信手段  chatwork とクラウドサービスの活用

- セキュリティについて
 - ・ SNS の業務利用は危険！情報漏えいに繋がるケースも
 - ・  chatwork(エンタープライズプラン) ならよりセキュアに利用可能

VI. 今日のまとめ

- “テレワーク” “働き方改革” を推進するために・・・
 - ・ 可視化・・・効率的に情報共有できる環境
 - ・ 体制整備・・・いつでもどこでも仕事ができる環境
 - ・ ツール整備・・・業務に応じたデバイス支給
効果的なクラウドサービス利用
 - ・ セキュリティ・・・利便性と安全性のバランス
- “テレワーク” “働き方改革” のカギはコミュニケーションの活性化にあり！

コミュニケーションが変われば働き方が変わる！

(質疑)

Q1：小規模の企業はいいツールであってもなかなか導入できないのではないかと思います。どのくらいの規模の企業の導入が適当なのか。また、休日はスマホで対応していると思うが、そうすると働き方改革と違いパワハラになったりするのではないかと。あと、料金体系を教えてください。

A1：チャットワークのご利用企業様は 5 名くらいの個人企業から 100 名くらいの企業が圧倒的に多い。大企業は部署単位、プロジェクト単位での導入が多

いです。端末が支給されているのはパソコンだけで、スマホは個人の所有です。しかしアカウントは会社所有のもので、そこがLINEと違うところです。チャットワークは仕事でしか使いません。働き方改革との関係についてですが個人的に午後 10 時以降と土日は絶対にチャットワークは開きません。部下にも話しています。料金プランはビジネスプランが 1 アカウント 500 円 / 月、ログを保存しセキュリティが強化されたエンタープライズプランが 800 円 / 月です。

Q2 : 私は 1 人で士業をやっているが、クライアントとの連絡する場合に本当にチャットでは要件だけで済むことになるのですか。また、通信料は社員持ちになるのですか。

A2 : メールでは堅苦しい部分があり、実際私がメールをするときも挨拶やお礼を入れますが、チャットでは久々に連絡する人でもインターフェイスの部分があるので要件だけで済みます。当社では一部手当がありますが通信料は基本的に個人持ちになります。



〔会場からの質問を受ける杉山大介氏〕